

## 令和7年度 病虫害発生予察情報(美濃地域:施設野菜) 3月予報

### 【イチゴ】ハダニ類

一部のほ場で発生が確認されています。施設内の温度が上がると増加しやすくなるため、葉裏をよく観察し、早期発見に努めてください。天敵を導入しても効果がみられない場合には、化学農薬による防除を実施してください。

### 【トマト】コナジラミ類

施設内に設置している黄色粘着板で、誘殺数が平年よりやや多い状況にあります。施設内の温度の上昇に伴い、増加する恐れがあるため、薬剤による防除を徹底してください。また、内張りとは外張りのフィルムの間に雑草が生え、コナジラミ類が越冬している場合があります。外す際には十分注意してください。

### ○主な病虫害の発生状況及び今後の予測(3月)

作物	病虫害名	3月(予測)	発生状況及び今後の予測	2月(発生量)	防除上の注意事項
イチゴ	灰色かび病	多	一部の調査ほ場で発生が認められる。今後、気温の上昇とともに増加が予測される。	多	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>灰色かび病</b> 枯死した花卉や果柄部、発病部位は見つけしだい除去し、被害の拡大を防ぐ。</li> <li>・<b>ハダニ類</b> 古葉や果柄などを除去し、薬液が葉裏まで十分かかるよう丁寧に散布する。 なお、同一系統薬剤の連用は避ける。</li> </ul>
	うどんこ病	やや少	調査ほ場での発病は認められないが、今後、気温の上昇とともに増加が予測される。	少	
	ハダニ類	やや少	一部の調査ほ場で発生が認められる。今後、気温の上昇とともに増加が予測される。	少	
	コナジラミ類	多	調査ほ場で発生が認められる。今後、気温の上昇とともに増加が予測される。	多	
トマト	灰色かび病	やや少	調査ほ場での発病は認められないが、今後、気温の上昇とともに増加が予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>コナジラミ類</b> 施設内の発生状況に注意し、本虫が増加する前に薬剤防除を行う。</li> </ul>
	コナジラミ類	多	調査ほ場で発生が認められる。今後、気温の上昇とともに増加が予測される。	やや多	
キュウリ	褐斑病	少	調査ほ場での発病は認められない。耐病性品種を栽培している場合、急激な増加はないと予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>うどんこ病</b> 発病が認められたら発病葉を除去し、早期に薬剤防除を行う。</li> <li>・<b>べと病</b> 過湿時には発病が助長されるため、送風機などを利用し、通風を良くする。</li> <li>・<b>アザミウマ類(ミナミキイロ)</b> 施設内の発生状況に注意し、本虫が増加する前に薬剤防除を行う。</li> </ul>
	うどんこ病	少	調査ほ場での発病は認められない。耐病性品種を栽培している場合、急激な増加はないと予測される。	少	
	べと病	少	調査ほ場での発病は認められない。耐病性品種を栽培している場合、急激な増加はないと予測される。	少	
	アザミウマ類	やや少	調査ほ場での発生は認められないが、今後、気温の上昇とともに増加が予測される。	少	
	コナジラミ類	やや少	調査ほ場での発生は認められないが、今後、気温の上昇とともに増加が予測される。	少	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注2) 調査品種 イチゴ:濃姫、美濃娘及び紅ほっぺ トマト:かれん、りんか キュウリ:ニーナ

### イチゴ ハダニ類

ハダニ類は、気温の上昇とともに生育スピードが速くなり、現在低密度であっても防除を怠ると急激に増加します。葉裏で増殖したハダニが上位葉に移動し加害すると、新葉にカスリ状の白い斑点が現れます。また、多発すると、株はハダニの吐く糸で覆われ、そのまま防除しないと、最後には枯死します。

低密度時には葉裏に生息し、カスリ症状も現れず、発生に気がつきにくいいため、よく観察し、発生に注意してください。

また、ハダニ類の発生が確認されたら、葉裏に薬液がかかるよう丁寧に防除を行ってください。

天敵を導入したほ場では、防除を行う場合は、天敵に影響が少ない薬剤を使用してください。

### 数値データ (2月調査)

		岐阜・西濃		中濃	
<b>イチゴ</b>					
うどんこ病	(発病株率 %)	0	(0.0)	0	(0.1)
灰色かび病	(発病果率 %)	0.2	(0.0)	0	(0.0)
ハダニ類	(発生株率 %)	0.7	(10.1)	6.0	(23.4)
コナジラミ類	(寄生株率 %)	4.0	(1.7)	0	(2.4)
<b>トマト</b>					
灰色かび病	(発病果率 %)	0	(0.1)	—	
灰色かび病	(発病株率 %)	0	(0.5)	—	
コナジラミ類	(誘殺頭数)	4.3	(3.4)	—	
<b>キュウリ</b>					
褐斑病	(発病葉率 %)	0	(0.0)	0	(0.0)
うどんこ病	(発病葉率 %)	0	(0.6)	0	(0.1)
べと病	(発病葉率 %)	0	(0.0)	0	(0.1)
アザミウマ類	(寄生頭数/100葉)	0	(0.0)	0	(0.0)
コナジラミ類	(寄生頭数/葉)	0	(0.0)	0	(0.0)

注1) イチゴは岐阜・西濃3ほ場、中濃1ほ場、トマトは3ほ場、キュウリは岐阜・西濃2ほ場、中濃1ほ場

注2) ( ) 内は平年値

注3) トマトのコナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板での調査。2月第1半旬～第3半旬の累積誘殺数

### ＝施設栽培の病虫害について＝

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病虫害の発生状況が異なります。施設内及び周囲の状況をよく観察し、病虫害の発生状況に応じた防除を実施してください。

### ＝東海地方1か月予報＝

(名古屋地方気象台 2月19日発表)

向こう1か月の気温は高く、降水量、日照時間はともにほぼ平年並と予想されます。平年と同様に晴れの日が多いでしょう。山間部では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

岐阜県病虫害防除所では、この他にも病虫害の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸 729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767



岐阜県病虫害防除所  
トップページ  
二次元バーコード